

若手／女性農業者によるグループ化 およびグループ活動促進に向けての 方策調査研究

跡見学園女子大学

赤間珠希

辻本弥音

戸ヶ崎愛香

樋口由菜

目次

・ 調査テーマ

- ▶ 概要説明、仮説（過去の活動含む）

・ 調査対象、事項

- ▶ 現時点で把握できた事項（ヒアリング内容）

・ 今後の調査及び研究の進め方

- ▶ ①たみっとでのイベント開催
- ②ファマコレの作成

・ 今期の成果目標

調査テーマ

調査テーマ・概要

全体テーマ

『若手／女性農業者のグループ化と活動促進のための方策調査』

本年度のテーマ 『グループ化と活動の促進』

活動目標

- ・グループ化の促進
- ・グループ活動の促進
- ・ファマコレへの参画
- ・たみっとでのイベント開催

目的 グループ活動の試行を通して、若手/女性農業者の
つながり強化と継続的に協働・発信できる仕組みをつくる

▶ 調査・研究に係る仮説

これまでの活動

令和6年度：若手(女性)農業者の現状・課題の把握、グループ化に対する意向調査
→「つながりの希薄さ」「活動の少なさ」が課題

令和7年度(今年)：グループ化と活動の促進
→イベント開催や情報交流発信ツールを通じて
協働の方向性とネットワーク構築の基盤を検討

仮説

グループ化を進めるには、

“**協働体験**”と“**情報共有の仕組み**”の両立が重要なのではないか。

調査対象・事項

調査対象

令和7年 8月6日～7日

現地にてヒアリング調査を実施。
短角牛繁殖農家（若手2名）、黒毛和牛繁殖農家（女性2名）のもとでお話を伺った。

調査事項

1. 農業者グループの現状と課題
2. 道の駅もりおか渋民「たみっと」でのイベント実施
3. ファマコレ(ファーマーズ・コレクション)の作成



ヒアリング内容

道の駅 もりおか渋民「たみっと」にて若手短角農業者2名にヒアリングを実施

☆短角牛繁殖農家

- ・部会に所属している農家は13軒（盛岡、玉山地域）
- ・他の市町村と協力することもある
- ・農家数が少ないからこそ助け合いが**共通認識**
- ・ブランド維持が大変

Eさん/Iさん

- ・玉山と盛岡の農家さん同士の親密度は高い
- ・農家の軒数が減ることへの不安がある
- ・人数がいないと短角牛のブランドを維持することが難しいからグループ化には賛成

☆グループへの要望

- ・市域を越えてつながっていききたい（ブランド力向上の為）
- ・市域で交流会の開催
- ・小人数で自由に動けるグループが理想（5人程度）
- ・イベントへの参加も前向きに検討したい

小規模のグループをつくることで
気軽に協力し合える！

盛岡にて女性2名（+男性2名）の黒毛和牛農家さんにヒアリングを実施

☆男塾女性部「Cow♡カウ女子クラブ」

- ・令和6年度に発足
- ・繁殖農家の奥さん6名
- ・活動頻度は1年で3回程
- ・分娩介助講習、見学訪問など（個人的に）

参考）玉山和牛繁殖研究会「男塾」

- ・畜産技術の向上や経営の安定を図る
- ・20名程度
- ・研修会等の企画、運営
- ・リーダーは獣医師免許を所持

☆グループ活動への期待

- ・活動頻度を増やしたい
（餌、病気、お産、経営についての勉強会を実施したい）
- ・問題が発生した際に、すぐアドバイスが聞けるシステムづくり
- ・女性部内での連絡手段の確立
- ・交流会の開催

Iさん

- ・リーダーを介せずに女性部で連携を取れるようになることが理想
- ・経営を任されることが多いので勉強をしたい
- ・子牛の共有等もしたい

Jさん

- ・旦那さんが不在の時に産が始まって、介助が必要になることがあるので知識を身に付けておきたい

同じ境遇や悩みを抱えるメンバーで
集まって雑談するだけでもリフレッシュできる！
自由に動けるようになることが理想！！

今後の調査及び研究の進め方

今後の調査及び研究の進め方

①「たみっと」でのイベント開催

盛岡市玉山地域に新たにオープンした道の駅もりおか渋民「たみっと」でのイベントを実施

☆目的

- ・グループ化のきっかけづくり
- ・農家さん同士の交流促進
- ・消費者に農家さんのことを知ってもらう

☆開催日時

- ・1月下旬から2月上旬
- ・2日間実施予定

☆イベント内容候補

- ・産地の異なる短角牛の食べ比べをし、好みの短角牛に投票
- ・短角牛を使用したオリジナルグルメの作成
(ケバブ、おでん、プルコギおにぎり等)
- ・跡見ブランドの短角牛
- ・料理教室



道の駅 もりおか渋民
Morioka Shibutami

たみっと

②ファマコレについて

☆ファマコレ（ファーマーズ・コレクション）とは
他の農業者や消費者に向けて市内の農業者を紹介する
ツールのこと

生産者だけではなく、農業者全体にも興味を持ってもら
える親しみやすいものを想定している



※ファマコレのイメージ図

☆ファマコレ作成に向けての意見

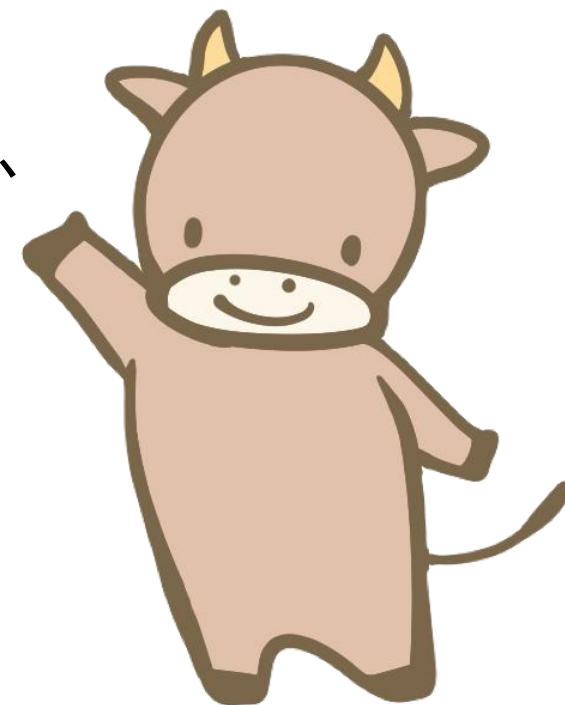
- ・繁殖農家のことを知ってもらえる
- ・ファマコレを紙媒体だけではなく、電子化する（QRコード）
- ・牧野の映像を流す

今期の成果目標

今期の成果目標

☆今後のたみっとでのイベント開催やファマコレの作成
を通し、農家さん同士の交流促進を図る
→持続可能なグループ活動の援助

☆ネットワーク形成に向けた課題・改善点を整理し、
協働体験や情報共有の仕組みづくり
→将来的には自立的に活動できる体制の整備



ご清聴ありがとうございました